



ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Opens Opportunities

第1274回例会 令和2年11月30日 No. 1135

会長：高橋 聖明・幹事：宮下 正幸

《点 鐘》 高橋(聖)会長

《斉 唱》.....
ロータリーソング「奉仕の理想」 } 割愛

《友愛の握手》.....

《ゲスト・ビジター紹介》 松本SAA

《出席報告》 中澤(資)親睦活動委員

会員総数	53名	出席ベース	42名
本日の出席者	33名	欠席者	9名
出席率	78.57%	前々回訂正出席率	73.81%

《ニコニコボックス報告》 小林親睦活動委員

会員誕生祝…江尻 克雄君、宮下 広男君
夫人誕生祝…江尻 克雄君
結婚記念祝…若林 健太君

市川 晴樹君、松本 研一君、藤沢 宏市君
小林 基司君、中澤 資長君、内藤 由幸君
北村 通將君、高橋 聖明君、佐藤 信行君
松橋 輝久君、高池 忠克君、滝沢 桂子君
羽生田宇多子君、近藤 安廣君、塚田 浩二君
倉島順之介君、宮川 滋彦君、宮本 哲也君
加藤 誠君、小宮 慶洋君、滝澤 晃君
…江尻さん、卓話楽しみにしています。

江尻 克雄君
…ごぶさたしていました。
本日は宜しくお願ひいたします。



《会長挨拶》 高橋(聖)会長

まず、ご報告です。12月21日のクリスマス例会については、11月9日の理事会において、家族は含めず会員のみでの夜間例会として開催すること、新型コロナウイルスの感染拡大による開催中止を会長に一任することが承認されましたが、11月14日には長野圏域に特別警報が出されるなど感染が拡大している状況にあります。酒席での感染防止対策には限界があることから、苦渋の選択ではありますが、クリスマス夜間例会の開催は中止することにいたしました。皆さまにはご理解いただきたく、よろしくお願ひいたします。



また、先般の例会で名誉会員の山崎崇男さんの近況をご報告し、いずれ健康の秘訣を会員卓話でお話しさせていただきたいとお話ししましたが、今般お手紙をいただき、例会に出席できそうになったら事務局に連絡するとのことでしたので、ご報告させていただきます。

ここで会長挨拶をさせていただきます。

例によって金田一春彦先生の「ことばの歳時記」ですが、本日11月30日のお題は「越後の雪」です。

その土地特有の単語や言い回しを「俚言」といいますが、越後は雪で聞こえた地方だけあって、雪に関する「俚言」が豊富だということです。

鈴木牧之が江戸天保年間に著した「北越雪譜」には、越後の雪について、まず、雪は高山の頂に降りますが、一夜明けると越後三山の頂上が真っ白くなる、これを「ダケマワリ」といい、冬のはじめを告げる荒天が続いて雷が鳴る、これを「ユキオロシ」といい、それと前後してアラレが降り、やがてミズレが降る、これを「ミズユキ」とも「シブタレユキ」ともいい、気温がぐんと冷えて冬が本格化してくると粒子が細くなる、これを「コナユキ」といい、堅くて大きなのは「ジャリユキ」、いよいよ本降りになって、いわゆる「ガチョウの毛」のことですが、これに似たのは「ボタユキ」というそうです。

私は、雪に関する俚言といえば、この「北越雪譜」の「越後の雪」よりも、1987年に新沼謙治が歌った「津軽恋女」を思い出します。「津軽には七つの雪が降るとか」…と歌って「こな雪・つぶ雪・わた雪・ざらめ雪・みず雪・かた雪・(春待つ)氷雪」と歌う「津軽の雪」です。

いずれにしても「越後の雪」も「津軽の雪」も雪国のお話です。

雪国といえば、皆さま、何を思い出されるでしょうか。

「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。夜の底が白くなった。」の書き出しではじまる川端康成の「雪国」でしょうか。

この「雪国」の舞台は、上越国境の清水トンネルを抜けた湯沢温泉、旅館は「高半旅館」^{たかはん}で今も営業しているそうです。主人公の島村は、12月初め、雪国に向かう汽車の中で、病人の男に付き添う若い娘葉子に興味を惹かれます。島村が降りた駅で、葉子たち二人も降ります。温泉旅館に着いた島村は芸者の駒子と呼びます。島村は久しぶりに会う駒子に「こいつが一番よく君を覚えていたよ」と、人差し指だけ伸した左手の握り拳を、いきなり女の前に突きつけます。駒子は、「そう？」と島村の指を握るとそのまま離さないで手を引くように階段を上って行きます…と始まるストーリーに胸を焦がしたことを思い出します。

島村と駒子と葉子を、池部良と岸惠子と八千草薫で見た方、木村功と岩下志麻と加賀まりこで見た方、いずれも相当古い映画になります。

雪国といえば、吉幾三が1986年に発表した「雪国」も思い出します。

「俺はぜったい！プレスリー」とか「俺ら東京さ行くだ」などのコミックソング路線から、プロデューサーだった千昌夫の大反対を押し切って本格演歌路線に転向して大ヒットした曲です。

吉幾三の作詞作曲で、雪煙を上げて北の津軽に向かって走る列車をイメージして、「追いかけて追いかけて 追いかけて雪国」と歌う心に染み入る歌詞ですが…が、元々は栃木県那須のホテルであった宴席で、吉幾三がベロベロに酔っ払って、お酌の芸者さんに即興で作った曲だそうです。歌い出しの「好きよ あなた」は、実は「だめよ そこは」で、下ネタ満載の歌詞だったそうですが、レコード会社のディレクターが、そのメロディーの良さから、真面目な歌詞にして作り直させたそうです。

本日も又とりとめのないお話しになりましたが、会長挨拶とさせていただきます。

《幹事報告》 宮本親睦委員長(代)

1. シャンティ国際ボランティアより創立40周年キックオフイベントのお知らせが届いております。

日時 12月12日(土)

14:00~17:00

イベントは、新型コロナウイルス感染拡大予防の為、オンライン配信にて開催いたします。

ご希望の方は、事務局までお申し出ください。



2. 例会変更のお知らせ

長野RC…12月8日(火)

夜間例会(クリスマス家族忘年会)

予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止対策として中止、休会

長野西RC…12月4日(金)

コロナウイルス感染予防対策として休会

*いずれも定刻受付は致しません。

《委員会報告》

●宮下(広)君

16代会長宮之尾隆雄さんがお亡くなりになりました。私が、幹事をやらせていただいた関係で皆さんにお知らせいたします。10月11日に79歳で他界されました。原因は、肺がんから転移して、最終的には、すい臓がんだったということです。

コロナ禍の中、悩まれた末、奥様が自宅で介護されたそうです。本人の強い希望でごく近親者のみ知らせてただけだそうです。特別に、ロータリーの会員の皆さんにお知らせさせていただくことになりましたが、奥様がお一人で介護され、大変お疲れになっており、今後のお参りなどは固くご遠慮願いたいとのことですので、どうかご配慮をお願いいたします。



●中沢(清)創立30周年記念親睦部会長

いよいよ今週の5日に、富山への記念旅行が迫ってまいりました。コロナウイルスの感染予防対策を万全として進めてまいりたいと思っておりますので、宜しくお願いたします。

当日の集合場所は、長野駅の改札前に7時40分にお集まりください。事前に感染予防チェックシートをFAXでお送りいたしますので、必ず忘れずにお持ちください。ご同伴者の方も同様をお願いいたします。チェックシートの状況によっては、当日旅行をご遠慮いただく場合がございますので、ご承知おきください。



また、当日都合が悪くなって欠席される方は、私の携帯までご連絡をお願いいたします。

また、移動の新幹線、バスの中でのご飲食はこちらでご用意できませんので、必要な方は各自でご用意いただきたいと思います。お昼のお飲み物は、クラブでご用意させていただきますので、好きなものを注文していただいても結構です。

《本日のプログラム》

会員卓話 江尻 克雄君



●ロータリー情報委員会より

5. アフガニスタン難民、予防接種を受ける

2001年11月パキスタンで行われた全国予防接種日(NID)に、84のロータリークラブから1,000人近く集まったロータリーボランティアが、5歳未満の児童3千万人以上を対象にしたポリオの予防接種の実施を手伝いました。

パキスタンNID(全国予防接種日)はアフガニスタン難民の児童も守るため、パキスタンとアフガニスタン、両国同時に実施されました。

《点 鐘》 高橋(聖)会長



《12月7日のメニュー》 — 和弁当 —

- ・焼物 銀だら 椎茸味噌 はじかみ
- ・小鉢 青梗菜浸し 明太数の子
- ・刺身 カジキ カンパチ 妻物 醤油
- ・煮物 風呂吹き大根 柚子味噌
- ・揚物 オレイン豚ヒレカツ おろしポン酢
- ・食事 白飯 漬物 味噌汁
- ・水菓子 オレンジゼリー 苺 ホイップ



【12月7日のプログラム】 「会員卓話」 小林 基司君